

平成23年度環境省委託事業

平成23年度 家庭エコ診断推進基盤整備事業に係る
地域別家庭エコ診断試行実施業務
(宮城県)
報告書

平成24年2月

公益財団法人 みやぎ 環境とくらしネットワーク

目次

1 業務の目的.....	1
2 診断実施事務局業務.....	1
2.1 事務局体制の整備.....	1
2.2 診断員の募集と養成.....	1
(1) 診断員の募集.....	1
(2) 全国事務局研修後のフォローアップ.....	1
(3) 診断員属性.....	3
2.3 受診希望者の募集.....	6
(1) Webによる広報.....	6
(2) うちエコ診断チラシ(申込書含む)の配布.....	7
(3) デモ診断実施.....	7
(4) マスコミリリース.....	7
(5) 情報紙による広報.....	8
(6) メールマガジンによる広報.....	8
2.4 うちエコ診断の実施.....	8
(1) 実施状況.....	8
(2) 診断形式.....	9
(3) 受診者属性.....	10
2.5 満足度調査のとりまとめ.....	13
2.6 受診家庭におけるCO ₂ 排出削減量のとりまとめ.....	20
2.7 その他.....	22

1 業務の目的

2020年に温室効果ガス90年比25%削減のためには、家庭も含めた全分野で大幅な削減が必要にもかかわらず、逆に家庭部門で2008年までは90年比で3割以上増加しており、従来の日々の取り組みを中心とした対策を超えて、家庭における全ての排出源で抜本的な対策が必要である。従来の普及啓発を中心とした施策によって、温暖化に対する意識は向上しているものの、実際の削減効果には結びついておらず、国民の意識の向上を実際の行動に移すためには、各家庭の排出状況に応じた、きめ細やかなアドバイスが求められる。そこで本業務は家庭エコ診断基盤整備事業の中で実施する地域別家庭エコ診断(以下、「うちエコ診断」という)試行実施の業務を東北ブロック内で連携しながら行うことを目的とする。

2 診断実施事務局業務

2.1 事務局体制の整備

	主な業務内容
事務局員 A	企画案作成、予算作成、会計管理、報告書作成
事務局員 B	企画案作成、事業広報、診断員募集、診断員研修、受診者募集、診断員事前打合わせ、診断同行、アンケート集計、報告書作成

2.2 診断員の募集と養成

(1) 診断員の募集

1) 募集対象

昨年度のうちエコ相談員、宮城県地球温暖化防止活動推進員、宮城県環境教育リーダー、登米市環境教育リーダー、環境カウンセラー、建築士、みちのくEMS審査員・評価員

2) 募集方法

上記募集対象に対し、主にメールリストを通して、募集要項と応募用紙を配信した。

3) 募集期間

2011年7月21日(金)～8月8日(月)

4) 募集結果人数

8月研修会応募者		18名
書類選考通過者		16名
8月26、27日	参加者	13名 (書類選考通過者のうち3名キャンセル)
診断員養成研修会	合格者	7名
10月13、14日	参加者	4名 (8月研修会のキャンセル3名+昨年度の相談員1名)
予備研修会	合格者	2名
合格者合計		9名

(2) 全国事務局研修後のフォローアップ

1) 初回診断前のフォローアップ

フォローアップ対象者：1名

フォロー項目：診断の順番、受診者の質問に対する回答、うちエコ診断ソフト操作

上記対象者に対し、初回診断前に事務局にてフォローアップを実施した。内容は、うち

エコ診断ソフトの操作方法・診断の流れ・不明点の確認、事務局員が受診者となった模擬診断の実施(受診者からの質問を想定し適時質問を実施)、模擬診断をうけての改善点の指摘・アドバイスの3つである。

なお、今年度新規診断員となった診断員全員および、継続診断員のうちの希望者に対し、同様のフォローアップを実施した。

2) 診断期間中のフォローアップ

フォローアップ研修会の実施

日時	2011年11月27日(日)13時00分～16時00分
開催場所	宮城県仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台5F 501会議室
参加者	宮城県のうちエコ診断員9名中5名が参加。
目的	診断を実施した上で生じた悩みを解消し今後満足度の高い診断を実施するために目指すべき姿を見つけること、宮城県の状況やルールを理解すること、診断員同士のつながり作りを目的に、意見交換会や診断員同士による診断を行う。
内容	<p>13:00～13:10 開始、宮城県事務局から 申込・実施状況報告、手順の再確認等</p> <p>13:10～13:20 アイスブレイク</p> <p>13:20～13:50 意見交換会 テーマ: 診断を行う上での悩み(こんなことが困った、うまく説明できなかった等)</p> <p>13:50～14:00 休憩</p> <p>14:00～14:50 診断員同士による診断</p> <p>14:50～15:40 診断員同士による診断 ペア交換</p> <p>15:40～15:50 全国事務局からコメント 全国事務局: 川原博満氏、中垣藍子氏</p> <p>15:50～16:00 宮城県事務局からの連絡</p>
参加者の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沢山の意見や発言がだされ、積極的に取り組んでいる様子だった。 <感想より> ・ 改めて診断の流れなどを伺い、省略している部分があることに気付かされました。初心を忘れずにこれからも活動していきたいと思います。 ・ 非常に意義がありました。診断員の方がどのような方がおり、どのように対応しているのか、どのような事で困っているのかが分かり非常に参考になりました。 ・ 相談される方の生活を理解した上で、実際に家族と共に取り組んでもらえる対策提案の難しさを感じました。 ・ 診断員の有効性を確認しました。 ・ 勉強になりました。

当日の様子		
	悩みに対するアドバイスを 記入(意見交換会)	診断員同士による診断

診断員同士による情報交換の場として、診断員メーリングリストを作成した。
省エネ性能カタログ等のパンフレットや図表、宮城県の補助金情報などを送付した。
メーリングリストを通じて満足度調査票の診断員向けコメントの情報提供を行った。

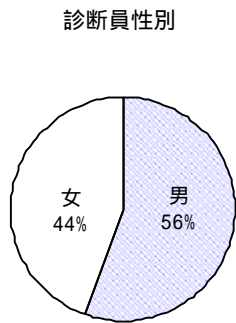
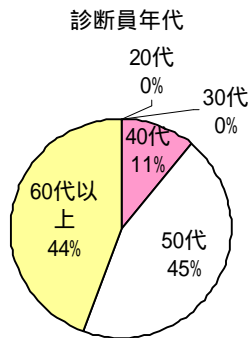
(3) 診断員属性

1) 診断員一覧

	氏名(五十音順)	性別	年代	属性	昨年度相談員
1	芋沢正四郎	男	50代	建築士	
2	大友浩一	男	60代以上	省エネルギー普及指導員	
3	川村真貴	女	40代	宮城県地球温暖化防止活動推進員	
4	菅野喜美恵	女	60代以上	宮城県地球温暖化防止活動推進員	
5	佐藤郁子	女	50代	宮城県地球温暖化防止活動推進員	
6	菅山洋子	女	50代	みちのくEMS評価員	
7	高澤廣人	男	60代以上	宮城県地球温暖化防止活動推進員	
8	塚崎隆夫	男	60代以上	宮城県地球温暖化防止活動推進員	
9	橋本正裕	男	50代	宮城県地球温暖化防止活動推進員	

2) 年代・性別

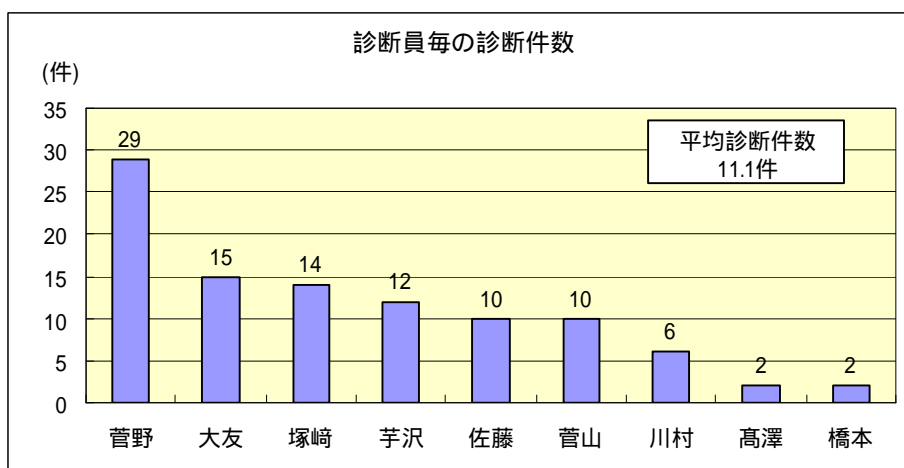
	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計(人)
男	0	0	0	2	3	5
女	0	0	1	2	1	4
合計(人)	0	0	1	4	4	9



60代以上の男性がもっとも多く、続いて50代男女、40代女性、60代以上女性の順であったが、大きな偏りは見られない。20代、30代は男女ともいなかった。

3) 診断員毎診断件数

	氏名 (診断件数順)	診断件数				合計 (件)
		10月	11月	12月	1月	
1	菅野喜美恵	1	4	12	12	29
2	大友浩一	0	5	2	8	15
3	塚崎隆夫	0	1	5	8	14
4	芋沢正四郎	0	1	4	7	12
5	佐藤郁子	0	1	4	5	10
6	菅山洋子	0	2	3	5	10
7	川村真貴	0	2	3	1	6
8	高澤廣人	0	1	0	1	2
9	橋本正裕	0	1	1	0	2
	合計	1	18	34	47	100
	平均	0.1	2.0	3.8	5.2	11.1

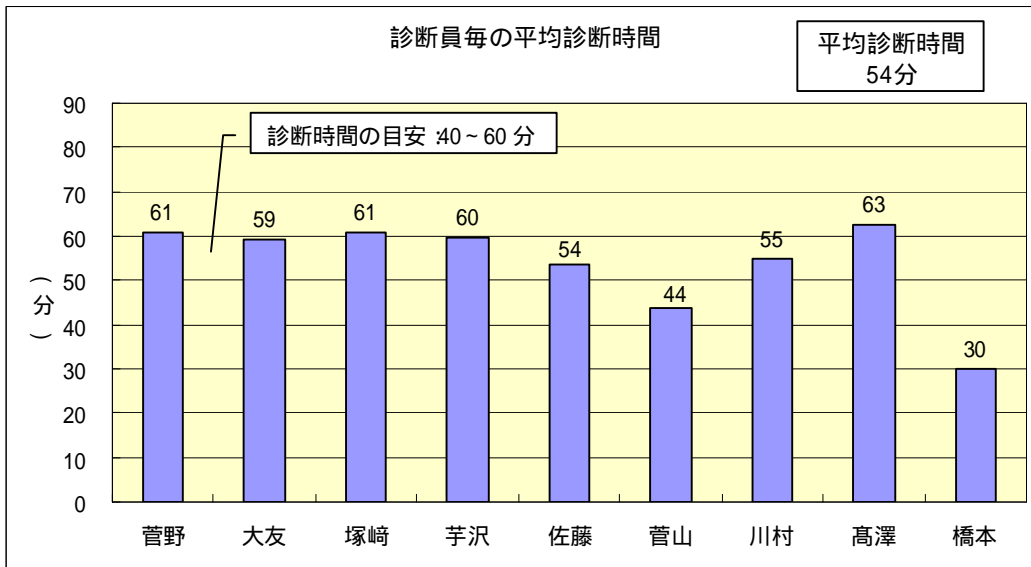


診断員によって大きな偏りが見られた。仕事を退職している方は日程の都合がつきやすく件数が多いが、仕事を持っている方は診断日が休日のみなど限られており件数は少ない。

4) 診断員毎診断時間

	氏名(診断件数順)	平均診断時間(分)
1	菅野喜美恵	61
2	大友浩一	59
3	塚崎隆夫	61
4	芋沢正四郎	60
5	佐藤郁子	54
6	菅山洋子	44

7	川村真貴	55
8	高澤廣人	63
9	橋本正裕	30
平均		54



ほとんどの診断員が目安となる 40 分 ~ 60 分で診断を行っていた。

2.3 受診希望者の募集

(1) Web による広報

当法人のウェブサイトにて、以下うちエコ診断のページを作成し、募集を行った。また、みやぎ生協の協力により、みやぎ生協ウェブサイトへ以下ページをリンクし、組合員等へ募集を行った。

CO₂削減・節電のために！ ライフスタイルの見直しに！

うちエコ診断

2011年度の受診申込は締め切りました。たくさんのお申込みありがとうございました。

うちエコ診断とは？

うちエコ診断は、貴家庭の年間エネルギー使用量や光熱費などの情報とともに、専用ソフトを用いて、各家庭の年間エネルギー使用量や光熱費の住まいの気候やご家庭のライフスタイルに合わせて最適な省CO₂・省エネルギー対策をご提案するものです。

- 各家庭にあわせた、オーダーメイドの対策を提案します。**
お住まいの気候やご家庭のライフスタイルに合わせて最適な様々な対策を個別にお提案します。
- うちエコ診断員が受診を行います。**
一般社団法人地球温暖化防止全国ネット(LNCCAA)認定を受けた「うちエコ診断員」が、省エネルギーや家庭での省電化対策の「なぜ?」「どうして?」にお答えします。
- 専用ソフトを用いて一目で分かるご説明をします。**
専用ソフトを用いて、各家庭の年間エネルギー使用量や光熱費、CO₂排出量がわかりやすく見せます。
- 具体的な情報を提供します。**
すぐ対策が実行できるよう、具体的なご提案形式のレポートをご用意しているのをご確認ください。



ご自宅のエコ感の検証を判定!



ご自宅のどこで、どれだけエネルギーを消費しているかがわかります!

詳しくは、全国地球温暖化防止推進センターのウェブサイトへ。

詳細の専用ソフトで随時調査中!

うちエコ診断員の紹介

申込み概要

対象	宮城県内に在りの方で、省エネに取組むご意向をお持ちの方であれば、どなたでもお申込みいただけます。
募集定員	50名
経費	無料
申込形式	紙面診断(ご自宅)、窓口診断(MELOD事務局)
受付期間	2011年10月～2012年1月中旬
申込締切	2011年12月末 ※2011年12月末締めお申し込み、今年度のお申込みは締め切りました。 たくさんのお申込みありがとうございました。
申込方法	このページの「申し込み受診申込書ダウンロード」より、お申し込みの上、FAX、郵送またはメールでお申し込みください。 お申し込みの際は、受付申込書の必要事項をご記入いただき、個人情報を取り扱いについて確認した旨をお知らせください。
申込み後にお願いすること	①申し込み受付完了後にお送りする調査事前調査書へのご記入、ご提出 うちエコ診断員による診断への立会い(時間目安:15分程度) ※一層の信頼で、診断から結果の提供、省エネ提案のまでを行います。 ※診断日時はお申し込みの際にご都合に合わせて、平日を改めて調整いたします。 なお、ご希望を優先させていただきます。 ②アンケートのご提出(診断直前) 診断を受けた翌日(日曜日)のご意見等をお送りするアンケートへのご協力をお願いします。 ③事後アンケートのご提出(診断から約2ヶ月後) 診断後の生活習慣についてアンケートへのご協力をお願いします。

>>> [受診申込書\(PDF\) ダウンロード](#)

お申込みいただいた方には、後日事務局から日程調整のお電話させていただきます。

お申込み・お問い合わせ先

うちエコ診断 宮城県事務局

ストップ温暖化センターみやぎ(財団法人みやぎ環境とくらしネットワーク)
〒981-0033 福島県香取郡本1-2-45 フォレストビル5F
TEL / 022-201-9145
FAX / 022-219-9718
E-mail / stop-warm@stn.or.jp
担当 / 岸

◀ back ▶

(2) うちエコ診断チラシ(申込書含む)の配布

全国事務局の作成したチラシを配布し、募集を行った。配布先とおおよその配布枚数を以下に示す。

配布先	内訳	おおよその配布枚数
県公共施設	85箇所×15枚	1300
各種団体	90箇所×20枚、1箇所×200枚	2000
自治体	3箇所×30枚	90
民間企業	1社×20枚	20
推進員	96名×2枚	200
当法人会員	1000名×1枚	1000
診断員	9名×10枚	90
当センター運営委員	20名×1枚、1名×160枚	180
環境市民講座	2回×60枚	120
合計	全国ネット1000枚、当センター4000枚印刷	5000

(3) デモ診断実施

以下自治体・企業等に対し、デモ診断を実施した。

デモ診断先	内訳
省庁、自治体	環境省東北地方環境事務所、宮城県庁、仙台市、川崎町
民間企業	株式会社東日本放送、株式会社東北電力
組合等	みやぎ生活協同組合、宮城県農業協同組合中央会、宮城県森林組合連合会、協同組合日専連仙台

(4) マスコミリリース

募集対象・期間、診断内容や形式、申込先などを記載した案内文書と、うちエコ診断チラシを宮城県内の報道関係者宛にFAXにて送付した。その結果、以下メディアに取り上げられた。

	日付	局	紙名・番組名
1	12/2(金)	河北新報	週刊オーレ
2	12/16(金)	東日本放送(KHB)	スーパーJチャンネル(夕方のニュース)
3	12/17(土)	河北新報	朝刊

12/2(金)河北新報週間オーレ



12/17(土)河北新報朝刊



(5) 情報紙による広報

当法人情報紙「MELON 情報紙 95号」(2011年10月発行)に、うちエコ診断の紹介と受診者募集の記事を掲載し、当法人会員約100名に送付した。(チラシ同封)

MELON 情報紙 95号

ストップ温暖化センターみやぎ通信 Vol.52

あなたの家のエコ度は?〜うちエコ診断開始〜

環境省の調査(※)によると、「日常生活における一人ひとりの行動が、環境に大きな影響を及ぼしている」と言っている方は92%。そして「節電などの省エネに努めたい」という方は85%にのぼります。しかし環境への意識が高まる一方で2009年度に家庭から出るCO₂の量は、1990年と比べて26.9%増えているのが現状です(環境省発表)。

そこで重要なのは実質的なCO₂削減につながる行動を進めることです。マイバッグやこまめな節電はもちろんとても大事!そこからさらに一歩踏み込むため、各家庭のCO₂排出の実態を見える化して効果的な対策を提案するのが「うちエコ診断」なのです。

うちエコ診断では、「うちエコ診断員」が専用ソフトを使って、受診者のライフスタイルを調査しながら診断を行います。例えば、移動には車が欠かせない地域では「車に乗らないで!」と書いても実践は難しいですね。ならば車を買い替えると燃料費の削減額や費用対効果はどうか、車以外の分野ではどこを重点にするとよいかなどいけばオーダーメイドの対策をご提案します。

昨年の試行事業ではモニター家庭の97%が「省エネに役立つ!」と言えました。是非この機会にうちエコ診断を受診してみませんか?詳しくはストップ温暖化センターみやぎにお問い合わせください!

※出典:「環境にやさしいライフスタイル実態調査」(平成22年度調査)

うちエコ診断とは

- 「わたしの家」のエコロウ-度がわかる!
- 自分の家でCO₂が多く出ているのは何故?対策?それと車?暮らし「どこから」「どれだけの」CO₂が出ているかを分析し、平均的な家庭との比較からエコロウ-度を算出します。
- 「わたしの家」ではどんな対策が効果的かわかる!

診断結果をもとに、オーダーメイドの対策をご提案します。

(6) メールマガジンによる広報

当法人の会員等向けのメールマガジン「MELON ニュース Vol.100」(2011年10月6日発行)にて、受診者募集の案内を配信した。

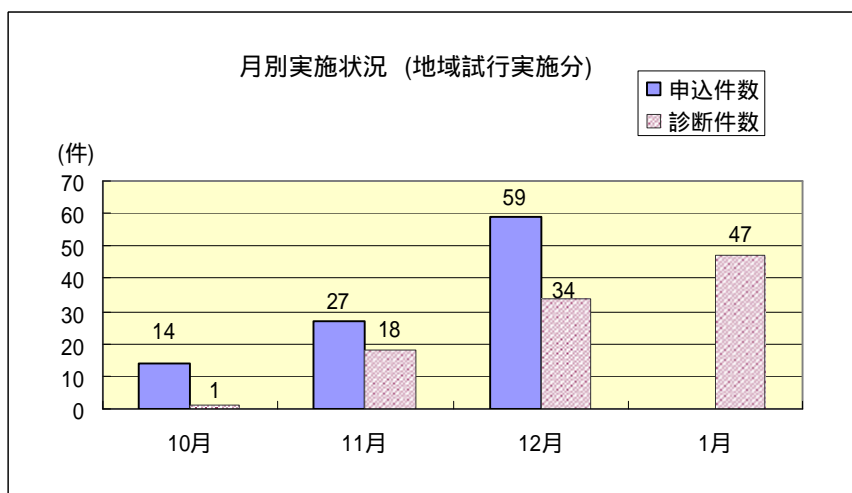
2.4 うちエコ診断の実施

(1) 実施状況

本年度業務におけるうちエコ診断の月別の実施状況を以下に示す。

1) 地域試行実施

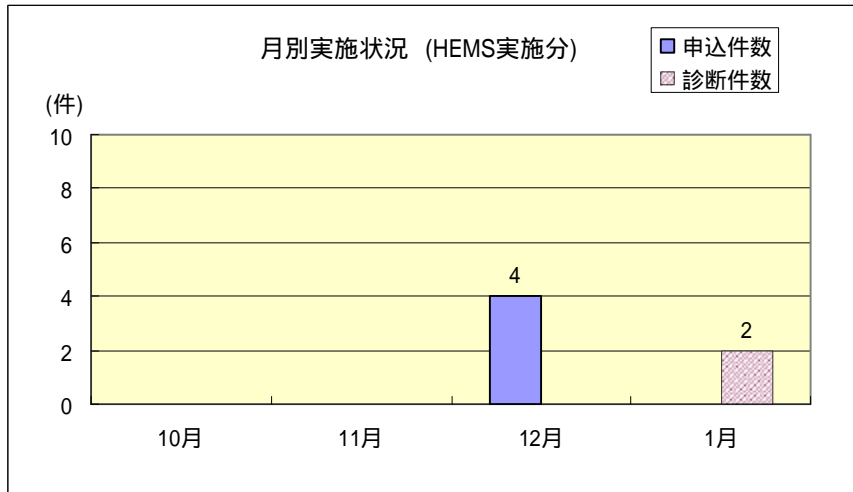
	10月	11月	12月	1月	合計(件)
申込件数	14	27	59	0	100
診断件数	1	18	34	47	100



2) HEMS 実施分

	10月	11月	12月	1月	合計(件)
申込件数	0	0	4	0	4
診断件数	0	0	0	2	2

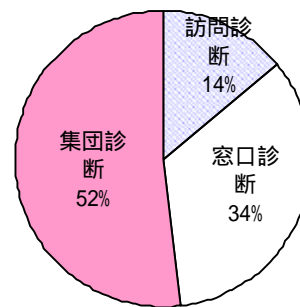
受診者側都合による辞退1件、当日キャンセル1件。



(2) 診断形式

診断形式	件数
訪問診断	14
窓口診断	34
集団診断	52
合計	100

診断形式

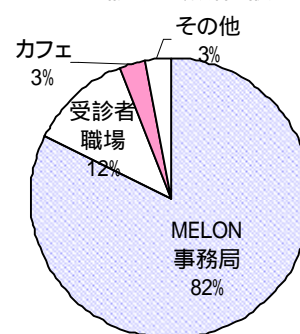


集団診断が52%ともっとも多い割合であった。要因は集団診断の募集を重点的に行ったためと思われる。

1) 窓口診断の実施場所

場所	件数
当法人事務局	28
受診者職場	4
カフェ	1
その他	1
合計	34

窓口診断 場所内訳



当法人事務局内で行った診断が、82%ともっとも多い割合であった。受診者の職場での診断は12%の他、カフェでの診断も1件あった。

2) 集団診断の実施回数およびグループ内訳

グループ内訳	回数
職場内	10回
サークルの仲間	3回
近所の仲間	2回
合計	15回

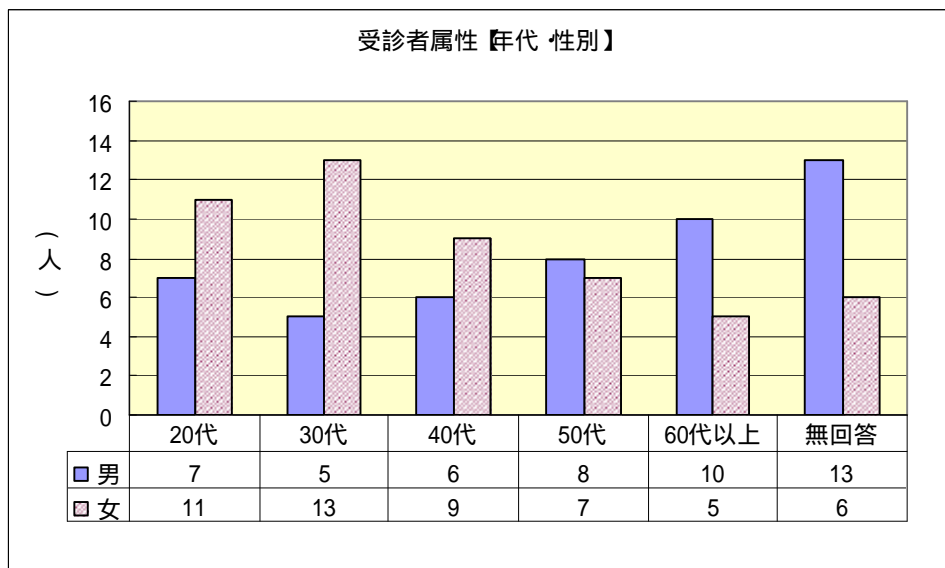
1回当たりの平均件数 3.5件

職場内での診断が1/3を占めていた。

(3) 受診者属性

1) 年代、性別

	20代	30代	40代	50代	60代以上	無回答	合計
男	7	5	6	8	10	13	49
女	11	13	9	7	5	6	51
合計	18	18	15	15	15	19	100

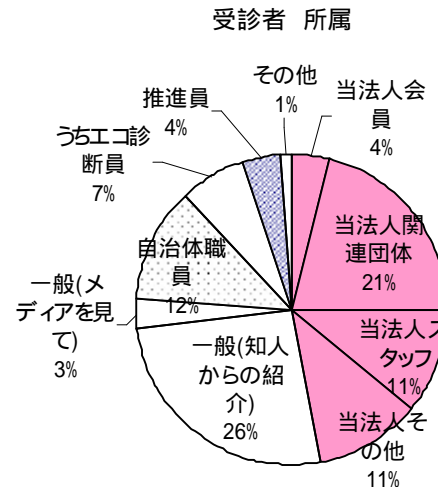


回答が得られた受診者の中では、年代は、20代30代が比較的多いが、全世代で極端な差は見られず幅広い世代が受診したと言える。

性別は、女性が51%と若干多いが、男女比に大きな差は見られない。

2) 所属

	所属		件数
1	当法人関係	会員	4
2		関連団体()	21
3		スタッフ	11
4		その他	11
5	一般	知人からの紹介	26
6		メディアを見て	3
7	自治体職員		12
8	うちエコ診断員		7
9	推進員		4
10	その他		1
	合計		100



() 関連団体・・・みやぎ生協職員、森林組合職員、農業協同組合職員

知人からの紹介が26%と最も多く、次いで当法人の関連団体(みやぎ生協職員、森林組合職員、農業協同組合職員)が21%と、各20%以上を占めている。要因として、知人・友人への声掛けだったこと、また当法人の関連団体に対してはデモ診断を実施していたことから、診断への理解度が高かったのではないかと考える。

3) 地域

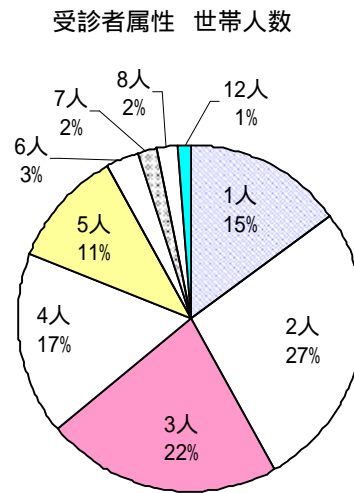
	市町村	件数
1	仙台市	74
2	大崎市	7
3	岩沼市	2
4	富谷町	2
5	利府町	2
6	七ヶ浜町	2
7	栗原市	1
8	登米市	1
9	石巻市	1
10	多賀城市	1
11	名取市	1
12	角田市	1
13	大郷町	1
14	川崎町	1
15	柴田町	1
16	大川原町	1
17	奥州市	1
	合計	100



仙台市が70%以上を占めている。大崎市は、自治体の協力が得られたことが大きく、来年度もつながりのある自治体と協力していくことが重要と言える。

4)世帯人数

世帯人数	件数
1人	15
2人	27
3人	22
4人	17
5人	11
6人	3
7人	2
8人	2
9人	0
10人	0
11人	0
12人	1
合計	100
平均世帯人数	3.2人



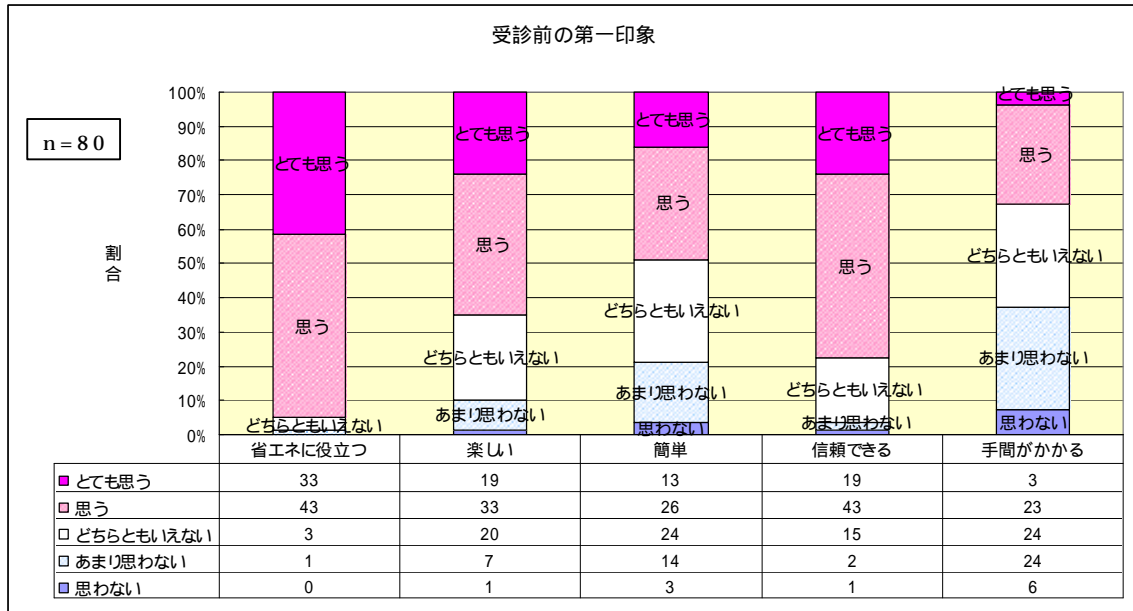
2人世帯が27%ともっとも多く、続いて3人世帯が22%、4人世帯が17%であった。

2.5 満足度調査のとりまとめ

回答者 90 件のうち、受診前後の比較を行うため完全回答の 80 件を有効回答として集計した。
(一部無回答 10 件、未提出 10 件)

うちエコ診断を受ける前の印象について

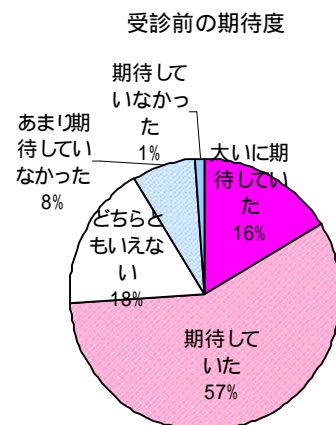
(1) 第一印象



「省エネに役立つ」「楽しい」「信頼できる」と思っている人の割合は各 95%、65%、77%と「どちらともいえない」「思わない」に比べ高かった。「簡単」「手間がかからない」と思っている人の割合は、各 48%、38%と「どちらともいえない」「思わない」より若干高めであった。

(2) 期待度

	項目	件数
1	大いに期待していた	13
2	期待していた	46
3	どちらともいえない	14
4	あまり期待していなかった	6
5	期待していなかった	1
	合計	80



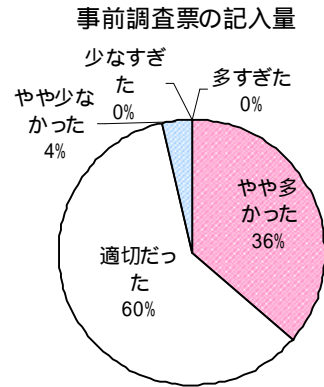
「大いに期待していた」「期待していた」と思っている割合が 73%と、「どちらともいえない」18%、「あまり期待していない」「期待していない」9%と比べて高い割合であった。

うちエコ診断の診断家庭について

(1) 事前調査について

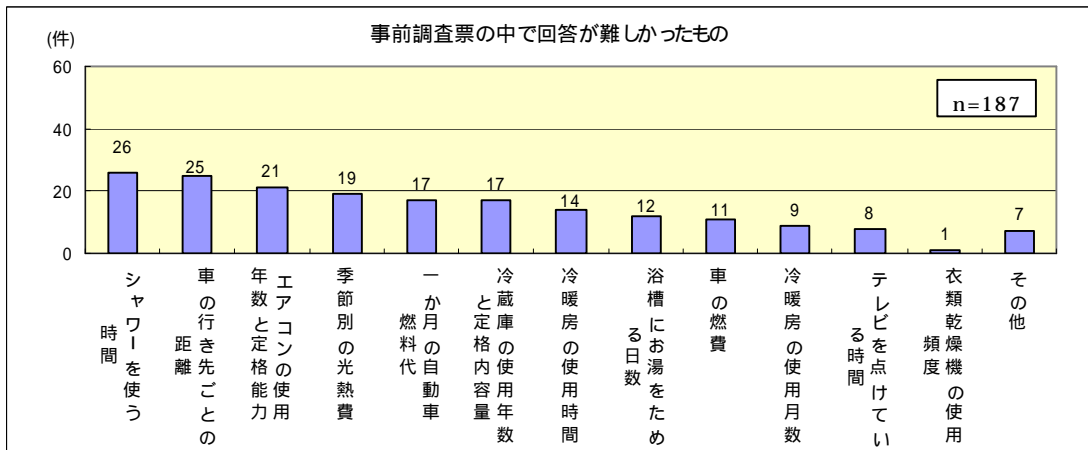
1) 記入量

	項目	件数
1	多すぎた	0
2	やや多かった	29
3	適切だった	48
4	やや少なかった	3
5	少なすぎた	0
	合計	80



60%が「適切」、36%が「やや多かった」を占め、「やや少なかった」は4%であった。「多すぎた」「少なすぎた」と回答した人はいなかった。

2) 質問の中で実態が分からず回答が難しかったもの (複数回答可)



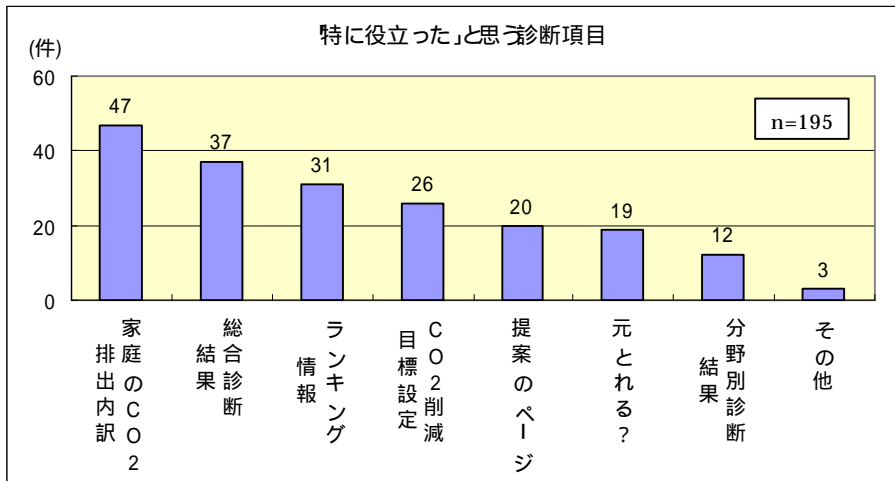
【その他の回答】

- ・電子レンジ、PC、除湿機等の使用時間があるとよい。
- ・灯油代の把握。
- ・坪数。
- ・セントラルヒーティング等がどのようなものか分からない。

「シャワーを使う時間」「車の行き先ごとの距離」が多かったことから、受診者以外の家族の行動の把握が難しかったと思われる。

(2) うちエコ診断ソフトについて

1) 「特に役に立った」と思う診断項目 (複数回答可)



	「分野別診断結果」内訳	件数
1	冷暖房	3
2	給湯	3
3	冷暖房	3
4	電気ポット	1
5	自家用車	1
6	すべて	1
合計		12

【その他の回答】

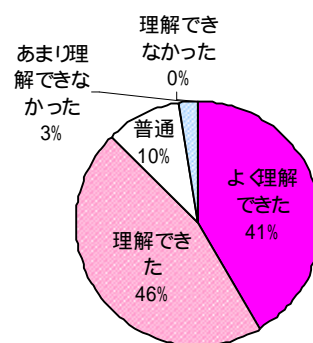
- ・エアコン暖房と灯油ストーブ暖房の比較
- ・診断一覧結果表

「家庭のCO₂排出内訳」がもっとも多く、続いて「総合診断結果」「ランキング情報」の順に多かった。

2) うちエコ診断ソフトの内容

	項目	件数
1	よく理解できた	33
2	理解できた	37
3	普通	8
4	あまり理解できなかった	2
5	理解できなかった	0
合計		80

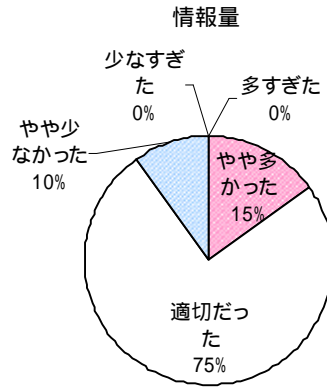
うちエコ診断ソフトの内容



「よく理解できた」「理解できた」の割合は87%であった。「理解できなかった」と回答した人はいなかった。

3) 情報量

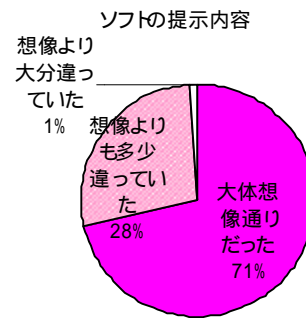
	項目	件数
1	多すぎた	0
2	やや多かった	12
3	適切だった	60
4	やや少なかった	8
5	少なすぎた	0
合計		80



「適切だった」の割合が 75%と最も多かった。続いて「やや多かった」15%、「やや少なかった」10%の順であった。「多すぎた」「少なすぎた」と回答した人はいなかった。

4) うちエコ診断ソフトの提示内容

	項目	件数
1	大体想像通りだった	57
2	想像よりも多少違っていた	22
3	想像よりも大分違っていた	1
合計		80



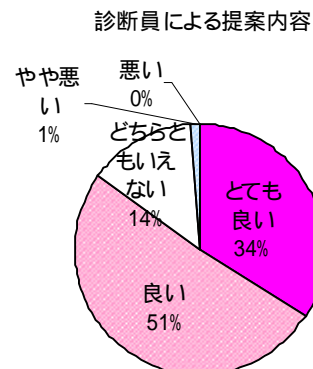
「想像よりも多少違っていた」「想像よりも大分違っていた」場合の理由

- ・視覚的に分かりやすかった。
- ・取り組むべき対策が具体的で分かりやすかった。
- ・診断結果が印刷できて分かりやすかった。
- ・もっと自分に合った提案をしてもらえと思っていた。
- ・車を使用しなければならない状況への配慮が不足していた。
- ・家電製品を「持っていない」という選択肢がなかった。
- ・都市ガス、LP ガスの差異への配慮が不足していた。

71%の受診者が予想通りの内容と思っていた。「想像よりも違っていた」の回答者では、「想像よりも分かりやすかった」、「想像よりも足りなかった」と思っていた人がそれぞれ半々だった。

(3) 診断員による提案内容について

	項目	件数
1	とても良い	27
2	良い	41
3	どちらともいえない	11
4	やや悪い	1
5	悪い	0
合計		80



「やや悪い」場合の理由

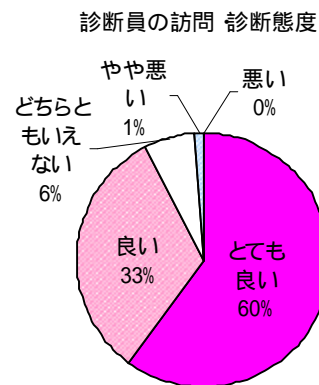
- ・現実的にすぐ取り組むには難しいと感じた。通勤を車ではなく、バスにすることに対して、CO₂の排出量と経済的な面の両面からメリットを話してほしいと感じた。

「とても良い」「良い」の割合が85%であった。「やや悪い」については、その理由から、提案時のコミュニケーションや会話不足が影響していると思われる。「悪い」の回答者はいなかった。

(4) 診断を行った診断員の評価について

1) 診断員の訪問・診断態度

	項目	件数
1	とても良い	48
2	良い	26
3	どちらともいえない	5
4	やや悪い	1
5	悪い	0
	合計	80



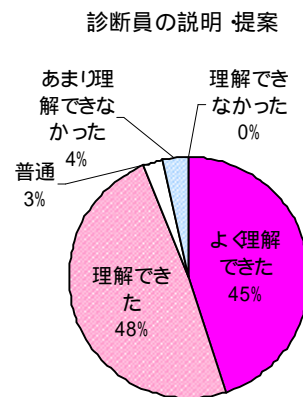
「やや悪い」場合の理由

- ・身だしなみがきちんとしていない。待ち合わせ場所の調整がうまくできておらず、なかなか会えなかった。

「とても良い」「良い」の割合が93%であった。また「やや悪い」の理由から、身だしなみや待ち合わせ時の対応などの診断以外の部分も診断員の印象や信頼度に影響すると考えられる。「悪い」の回答者はいなかった。

2) 診断員の説明・提案

	項目	件数
1	よく理解できた	36
2	理解できた	39
3	普通	2
4	あまり理解できなかった	3
5	理解できなかった	0
	合計	80



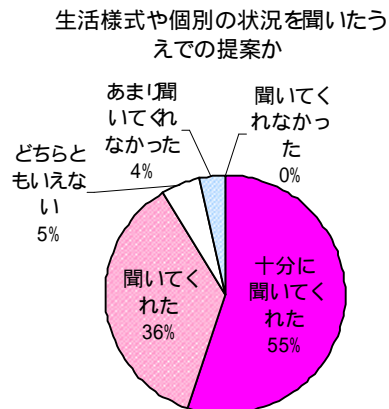
「あまり理解できなかった」場合の理由

- ・事前アンケートについて分からないところを聞いたり、使われている用語について質問しても、すぐに返事が返ってこなかったため。
- ・分からない言葉に対し質問したところ、その言葉についての説明が理解できなかった。

「よく理解できた」「理解できた」の割合が 93%であった。受診者の理解度を高めるために、うちエコ診断で使用している用語について診断員が理解していることが重要であると言える。「悪い」の回答者はいなかった。

3) 生活様式や個別の状況を十分に聞いたうえで提案か

	項目	件数
1	十分に聞いてくれた	44
2	聞いてくれた	29
3	どちらともいえない	4
4	あまり聞いてくれなかった	3
5	聞いてくれなかった	0
	合計	80

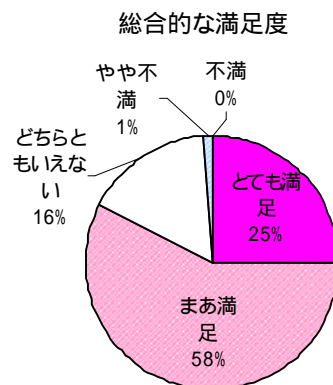


「十分に聞いてくれた」「聞いてくれた」の割合が 91%であった。「聞いてくれなかった」と回答した人はいなかった。

うちエコ診断全体に対して

(1) 総合的な満足度

	項目	件数
1	とても満足	20
2	まあ満足	46
3	どちらともいえない	13
4	やや不満	1
5	不満	0
	合計	80

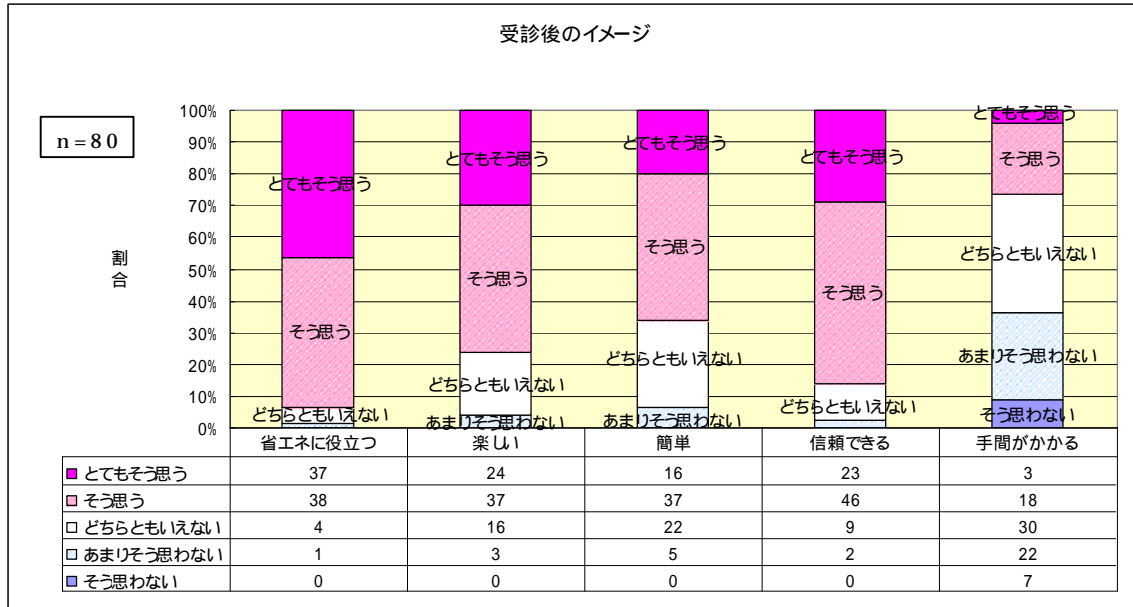


「やや不満」場合の理由

- ・すぐに「この行動を実践しよう!」という具体的な対策がみえにくかったため。

「とても満足」「まあ満足」の割合が 83%であった。「不満」と回答した人はいなかった。

(2) 診断を受けた後のうちエコ診断のイメージ



～受診前との比較～

【省エネに役立つ】

受診前後で変化は見られなかった。

【楽しい】

「思う」の割合が11%増加し、「どちらともいえない」「思わない」の割合が各5%減少した。

【簡単】

「思う」の割合が18%増加し、「どちらともいえない」が2%減少、「思わない」が16%減少した。

【信頼できる】

「思う」の割合が9%増加し、「どちらともいえない」が8%減少、「思わない」が1%減少した。

【手間がかかる】

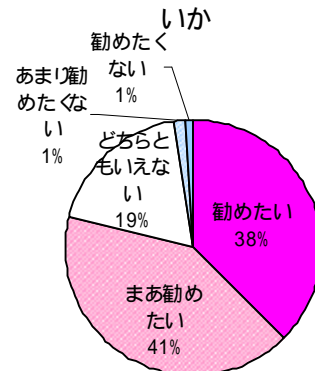
「思う」の割合が6%減少、「どちらともいえない」が8%増加、「思わない」が2%減少した。

受診したことにより「楽しい」「簡単」「信頼できる」と感じた人が増え、「手間がかかる」はどちらともいえないと思う人が増えた。

(3) うちエコ診断を知人等に勧めたいか

	項目	件数
1	勧めたい	30
2	まあ勧めたい	33
3	どちらともいえない	15
4	あまり勧めたくない	1
5	勧めたくない	1
	合計	80

うちエコ診断を知人等に勧めたいか



79%の受診者がうちエコ診断を知人等へ勧めたいと思っているという結果であった。

(4) 診断内容に対する意見・批判・要望等

<良かった点>

- ・現実的に出来そうなものを提案していただいた。買い替えしたり、リフォームしたりしないと省エネできないと思っていたので、家族だんらんが大きな効果があるとは非常に意外だった。
- ・診断員の対応が丁寧かつわかりやすく、とてもよかった。グラフの説明(見方)をしてくれるので理解しやすい。診断員は私よりかなり年上であるが、きちんと敬語で対応して頂き、「丁寧で誠実」という印象を受けたことで提案を受け入れやすかった。

<悪かった点>

- ・アンケートに記載したとおりの数字が選択技に無いのが残念だった。
- ・一軒毎にこの診断を行うことはあまりにもコスト高と思う。
- ・事前調査票はさまざまな家族形態を想定しているようには思えず、診断で不愉快な思いをするのではと不安があった。実際は楽しく診断を受けることができたが、エネルギー利用、使用量、料金を把握していないと診断にはならないので誰でもが気軽に受けられるものではないと思う。

<要望・提案>

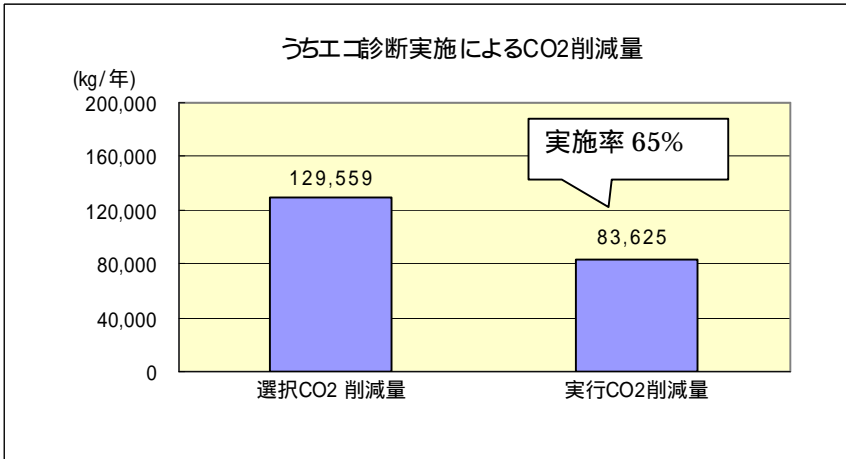
- ・簡易バージョンで環境イベントなどでの開催もエコ意識のPRが出来そうだ。
- ・質問が詳細すぎると思う。CO₂排出量の多い項目中心に、もう少し簡素化した方が良いと思う。
- ・提案内容がテレビ等で紹介されているものが多くほとんど実施していた。環境に熱心な人が工夫している点を提案とは別の形でもう少し紹介してもいいのでは。
- ・個人毎にCO₂排出源は異なるので、もう少し細かい質問が必要だと思う。電気自動車もあれば、薪を使用している方もいる。都市部の一般的家庭のイメージだけでは、答えにくい部分があった。
- ・車の使用を休日のみという欄があれば設けていただきたい。

2.6 受診家庭におけるCO₂排出削減量のとりまとめ

評価ツールを用いて算出した、うちエコ診断時に選択された対策項目のCO₂削減量と事後調査票で回答された実行による対策項目のCO₂削減量を以下に示す。

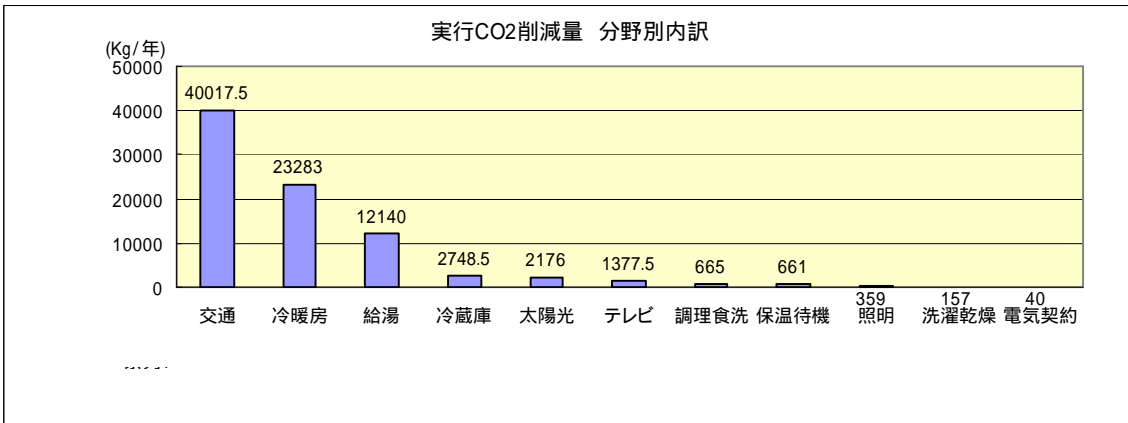
なお、回答者85件を有効回答として集計した。(未提出15件)

	CO ₂ 削減量(kg/年)
選択CO ₂ 削減量	129,559
実行CO ₂ 削減量	83,625



実行 CO₂ 削減量の分野別内訳を以下に示す。

分野	CO ₂ 削減内訳(kg/年)
交通	40,018
冷暖房	23,283
給湯	12,140
冷蔵庫	2,749
太陽光	2,176
テレビ	1,378
調理食洗	665
保温待機	661
照明	359
洗濯乾燥	157
電気契約	40
合計	83,625



2.7 その他

以下媒体でうちエコ診断事業の広報・周知を行った。

1) 当センターブログ

「うちエコ診断」のカテゴリを作成し、診断の様子や診断員や受診者の感想などを掲載した。

2) 当法人情報紙

当法人情報紙「MELON 情報紙 96 号」(2012 年 1 月発行)にて、うちエコ診断の記事を掲載した。

3)新聞掲載

河北新報朝刊(2012年1月10日発行)にて、うちエコ診断の記事を掲載した。

河北新報朝刊(2012年1月10日(火曜日))

あなたに合う省エネは



全国ネット「うちエコ診断」宮城でも

「うちエコ診断」は、省エネを推進する「省エネ推進センター」が、省エネアドバイザーを養成し、県内各地で実施している。宮城県では、仙台市青葉区の「ストップ温暖化センターみやぎ」で、1月9日(土)に「うちエコ診断」を実施した。

「うちエコ診断」は、省エネアドバイザーが、家庭のエネルギー消費状況を調査し、省エネ方法をアドバイスする。省エネアドバイザーは、省エネ推進センターで養成されている。省エネアドバイザーは、省エネ推進センターで養成されている。省エネアドバイザーは、省エネ推進センターで養成されている。

節約数値 面談し助言

「うちエコ診断」は、省エネアドバイザーが、家庭のエネルギー消費状況を調査し、省エネ方法をアドバイスする。省エネアドバイザーは、省エネ推進センターで養成されている。省エネアドバイザーは、省エネ推進センターで養成されている。

「うちエコ診断」は、省エネアドバイザーが、家庭のエネルギー消費状況を調査し、省エネ方法をアドバイスする。省エネアドバイザーは、省エネ推進センターで養成されている。省エネアドバイザーは、省エネ推進センターで養成されている。

「うちエコ診断」は、省エネアドバイザーが、家庭のエネルギー消費状況を調査し、省エネ方法をアドバイスする。省エネアドバイザーは、省エネ推進センターで養成されている。省エネアドバイザーは、省エネ推進センターで養成されている。

平成23年度 家庭エコ診断推進基盤整備事業に係る
地域別家庭エコ診断試行実施業務
(宮城県)
報告書

発行 平成24年2月

問合せ先 〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台5階

公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク

TEL/022-301-9145 FAX/022-219-5710

E-mail/stop_gw@miyagi.jp.org

URL/http://www.melon.or.jp/melon/contents/Global_Warming/index.htm